

令和4年度補正 水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価結果

長崎県水産部水産経営課

目的	集出荷拠点である五島市福江港においては、主に島外出荷の漁獲物が多いため、老朽化によって製氷量が減少した既存施設では氷の必要量を賅っておらず、漁業者は近隣の他業者の製氷施設から既存施設より高い単価で氷を購入している。そのため移動時間やコストが増大し、漁業者の安定操業が困難な状況であることから、製氷施設を整備し、必要不可欠である氷を安定的かつ安価に供給することによって、漁家収益性の改善を図る。		
目標	・五島ふくえ漁協における中核的漁業経営者の漁業所得向上 ・施設の製氷利用量の増	2	
事業実施主体	五島ふくえ漁業協同組合		
実施地区名	五島市福江地区		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	令和4年度～令和5年度	令和6年度	
助成金額	220,551千円		
事業計画の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>製氷施設整備（製氷15t（7.5t×2台）/日、貯氷30t/日）</li> <li>既存施設解体</li> </ul>		
評価	取組の目標（KPI）	五島ふくえ漁協における中核的漁業経営者の漁業所得向上	
	基準年（A）	（令和3年度末時点） ●●●●●●千円	
	現状値（B）	（令和6年度末時点） ●●●●●●千円	増加率 【= (B-A) / A × 100】 70.3%
	目標値（C）	（令和8年度末） ●●●●●●千円	増加 【= (C-A) / A × 100】 10.0%
	成果目標	福江地区製氷施設の整備を通じて、年間製氷利用量の増加を図る	
	現状値（D）	（令和6年度末時点） 3,755t 【=D/E×100】 95%	
	目標値（E）	（令和6年度末） 3,952t	
	（1）現状値の説明	<p>【取組の目標（KPI）】五島ふくえ漁業協同組合に所属している中核的漁業経営者の売上から経費を控除した数値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間からの氷の購入が不要となり、利便性の向上による労働時間短縮等により経費の削減につながり、また魚価も良かったため目標達成となった。</li> </ul> <p>【成果目標】五島市福江地区に新たに整備した施設の年間製氷利用量 令和6年度末時点：3,755t ・目標値3,952tに対し現状値3,755tで成果目標達成率は72.3%と、目標はおおよそ達成できた。要因としては、五島ふくえ漁協全体での水揚量に大きな増減はなかったものの、近隣地区の製氷施設が集約され、今回整備施設で購入されることで計画時の現状値3,240tより増加した。</p>	
	（2）地域への経済効果	施設整備前は民間製氷会社より高額な氷を購入していたが、施設整備後は氷を安価で購入することが可能となり一層の組合員の収益性改善に繋がった。また、安定的な出荷体制が確立され、漁業生産活動の円滑化が図られた。さらに、旧施設をそのまま利用し続けた場合と比べ、新施設の整備と近隣地区の製氷施設の集約化により、廃止となった製氷施設の維持管理費等が大幅に削減された。	
	（3）所見	引き続き当該施設利用の向上に努め、組合員の収益性の改善を図る。	
（4）評価機関への意見等			
今後の改善方向等に関する分析	当初の事業計画に則り、受益者への積極的かつ適正な利用を促すことにより、氷の利用量の増加を目指していく。魚価上昇に伴い、操業回数増加や出荷量の増加が見込まれるため、水揚量及び氷の利用量の増加に繋がっていく必要がある。		